

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 08045306
 PUBLICATION DATE : 16-02-96

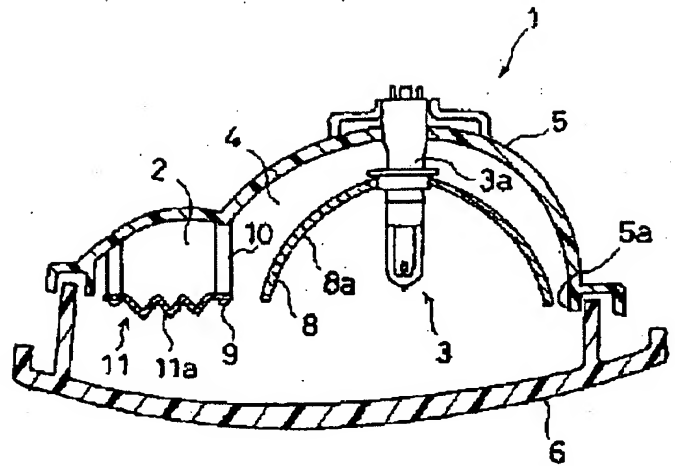
APPLICATION DATE : 28-07-94
 APPLICATION NUMBER : 06177042

APPLICANT : DAIHATSU MOTOR CO LTD;

INVENTOR : ISHIKURA KOJI;

INT.CL. : F21M 3/08 F21M 3/02 G02B 5/08

TITLE : HEADLAMP DEVICE FOR VEHICLE



ABSTRACT : **PURPOSE:** To enhance external appearance without damaging a feeling of one body with a headlamp by mounting a dummy reflecting plate having a corrugated or irregular diffused reflection surface in the auxiliary lamp housing.

CONSTITUTION: A headlamp device 1 comprises an auxiliary chamber 2 capable of containing an auxiliary lamp, a lamp housing 5 provided with a main housing 4 for containing a headlamp and a lens 6 installed in the front opening 5a of the housing 5. A dummy reflecting plate 11 is mounted on a supporting boss part 10 projecting in the auxiliary chamber 2. The dummy reflecting plate is formed by bending a thin plate extending in the vertical direction so that its transverse cross section becomes a corrugated form and the corrugated form makes a diffused reflection surface 11a. When an auxiliary lamp is not used, costs can be more reduced as compared with a conventional reflector kept back because the dummy reflecting plate is mounted in the auxiliary chamber 2. The diffused reflection surface 11a of the dummy reflecting plate 11 is not limited to a corrugated form but can be formed into an irregular form.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-45306

(43)公開日 平成8年(1996)2月16日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F 1	技術表示箇所
F 2 1 M	3/08	Z		
	3/02	E		
G 0 2 B	5/08	B		

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平6-177042
(22)出願日 平成6年(1994)7月28日

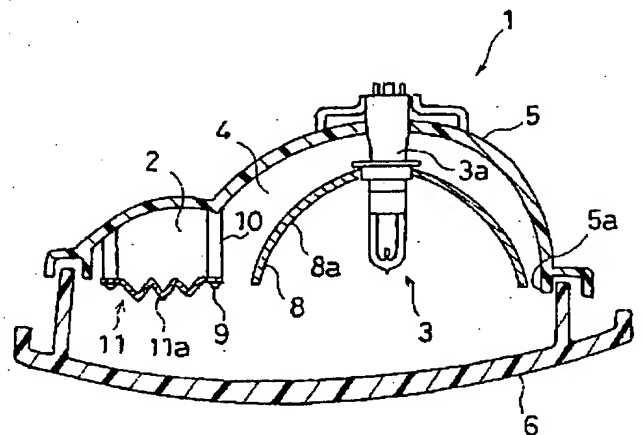
(71)出願人 000002967
ダイハツ工業株式会社
大阪府池田市ダイハツ町1番1号
(72)発明者 木村 亨
大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内
(72)発明者 竹原 國士
大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内
(72)発明者 石倉 幸司
大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内
(74)代理人 弁理士 下市 努

(54)【発明の名称】 車両用ヘッドランプ装置

(57)【要約】

【目的】 補助ランプを採用しない場合に、コスト増となることなく、また、ヘッドランプとの一体感を損なうことなく外観を向上することができる車両用ヘッドランプ装置を提供する。

【構成】 主室4にヘッドランプ3及び主反射板8を配設し、補助ランプを収容可能な補助室2に、波形状又は凹凸状の乱反射面11aを有するダミー反射板11を、上記主反射板8に隣接させて配置する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 補助ランプを収容可能な補助室、及びヘッドランプを収容する主室を有するランプハウジングと、該ランプハウジングの前面開口に装着されたレンズとを備えた車両用ヘッドランプ装置において、上記主室にヘッドランプ及び主反射板を配設し、上記補助室に波形状又は凹凸状の乱反射面を有するダミー反射板を上記主反射板に隣接させて配置したことを特徴とする車両用ヘッドランプ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、自動車に取り付けられるヘッドランプ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、自動車に取り付けられるヘッドランプ装置として、図4に示すように、フォグランプやクリアランスランプ等の補助ランプ20とヘッドランプ21とをランプハウジング22に一体的に取り付け、該ハウジング22の開口22aに共通のレンズ23を取り付けた構造のものが一般に用いられている。この場合、上記補助ランプ20、及びヘッドランプ21にはそれぞれリフレクタ24、及び反射板25が取り付けられている。

【0003】 一方、自動車の仕様の相違により、上記ヘッドランプ21のみを採用し、上記補助ランプ20を不要とする場合があるが、このような時でも部品共用化によるコスト低減を図るために、上記ランプハウジング22を流用することが考えられる。

【0004】 この場合、上記補助ランプ20部分の取付部品を全て取り外すと見栄えが悪化する問題がある。また、一般にヘッドランプ装置では正面から見たときに光を乱反射して外観を向上させることが行われている。これらの要請に応えられるダミー構造として、上記補助ランプ20のバルブ26のみを取り除いて、上記リフレクタ24を残す方法がある。また、該リフレクタ24の代わりにSUS等の平板を取り付ける方法もある。さらにまた、上記ハウジング本体22に反射塗装を行うことで、取付部品を全て取り外した状態での外観の向上を図る方法がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上記リフレクタ24は高価であるため、該リフレクタ24を残す方法ではコスト増となる問題があり、また、上記SUS等の平板を取り付ける方法では光の反射による外観の向上は困難であるという問題があり、また、上記反射塗装を行う方法ではヘッドランプとの一体感が損なわれ、この点から外観が悪化するという問題がある。

【0006】 本発明は、このような実情に鑑みてなされたもので、補助ランプを採用することなくハウジングのみを共用する場合に、コスト増となることなく、またヘ

2

ッドランプとの一体感を損なうことなく外観を向上することができる車両用ヘッドランプ装置を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る車両用ヘッドランプ装置では、補助ランプを収容可能な補助室、及びヘッドランプを収容する主室を有するランプハウジングと、該ランプハウジングの前面開口に装着されたレンズとを備えた車両用ヘッドランプ装置において、上記主室にヘッドランプ及び主反射板を配設し、上記補助室に波形状又は凹凸状の乱反射面を有するダミー反射板を上記主反射板に隣接させて配置したことを特徴としている。

【0008】

【作用】 本発明によれば、補助ランプを採用しないときは、該補助ランプの取付部に波形状又は凹凸状の乱反射面を有するダミー反射板を取り付けたので、上記従来のリフレクタ24を残す方法と比べてコストを低減でき、また平板の場合に比べて上記乱反射面により光を確実に乱反射して外観を向上でき、また反射塗装による場合に比べてヘッドランプとの一体感を維持でき、外観が悪化することを回避できる。

【0009】

【実施例】 以下、本発明の実施例を添付図面に基づいて説明する。図1～図3は本発明の一実施例による自動車用ヘッドランプ装置を説明するための図であり、図1は上記実施例装置の外観図、図2は図1のII-II線断面図、図3は上記実施例装置に用いられるダミー反射板の外観図である。

【0010】 図において、1は、本実施例の自動車用ヘッドランプ装置を示し、該ヘッドランプ装置1は、補助ランプが収容可能な補助室2、及びヘッドランプ3を収容する主室4を備えるランプハウジング5と、該ハウジング5の前面開口5aにレンズ6を装着した構造のものである。

【0011】 上記ヘッドランプ3のソケット3a部分には主反射板8が取り付けられており、この主反射板8の反射面8aには僅かな凹凸（不図示）が設けられて、正面からの光を不等方向に反射して外観を向上するようになっている。

【0012】 また、上記補助室2には支持ボス部10が突設されており、該支持ボス部10上にダミー反射板11がボルト9により取り付けられている。上記ダミー反射板11は上記主反射板8と同様に光の反射により外観を向上するためのものである。このダミー反射板11はSUS等の薄板を図のように垂直方向に延びる横断面波形状に折り曲げて形成したものであり、この波形状が光を乱反射する乱反射面11aとなっており、また両端に取付用フランジ部11bを備えている。なお、上記反射板11は乱反射面11aの折り曲げ方向を斜め或いは水

3

平方向にしても良い。また、上記支持ボス部10は、補助ランプを採用した場合にはリフレクタ24の装着に支障のない位置、形状に設定されている。

【0013】このように本実施例では、補助ランプを採用しない時は、上記ランプハウジング5の補助室2にSUS等の波形のダミー反射板11を取り付けたので、上記従来のリフレクタを残す方法と比べてコストを低減できる。また、波形状の反射面11aにより、例えば平板を用いた場合より光をより確実に乱反射させることができ、ヘッドランプ3側部分と同様なざらざら感が得られ、また反射塗装を施した場合に比べてヘッドランプ3との一体感を維持でき、外観が悪化することを回避できる。

【0014】なお、本発明の反射板の乱反射面は、波形状に限らず要は光を乱反射可能に構成すればよく、例えばSUS薄板を凹凸状に形成したものでも良い。

【0015】

【発明の効果】以上のように本発明に係る車両用ヘッドランプ装置では、ランプハウジングの補助室に波形状又は凹凸状の乱反射面を有するダミー反射板を取り付けた

ので、コスト増となることなく外観を維持することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例による車両用ヘッドランプ装置の外観図である。

【図2】図1のII-II線断面図である。

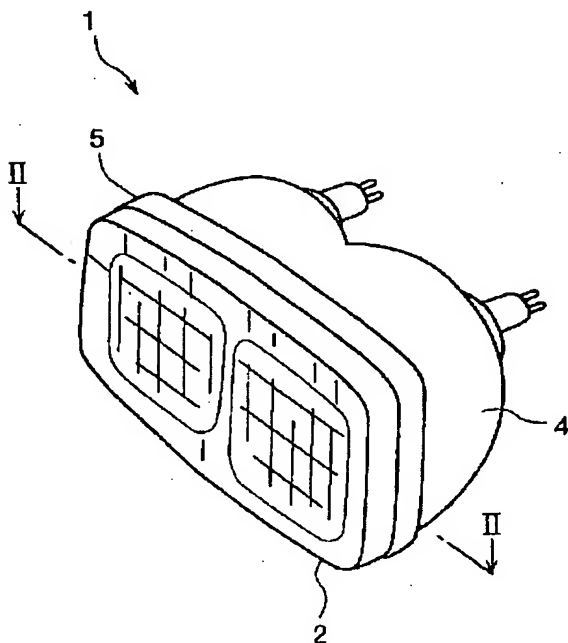
【図3】上記実施例装置のダミー反射板の外観図である。

【図4】従来の車両用ヘッドランプ装置の断面平面図である。

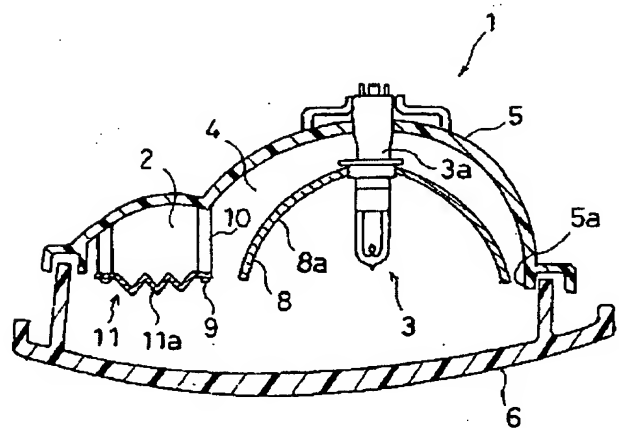
【符号の説明】

- 1 車両用ヘッドランプ装置
- 2 補助室
- 3 ヘッドランプ
- 4 主室
- 5 ランプハウジング
- 6 レンズ
- 8 主反射板
- 11 ダミー反射板

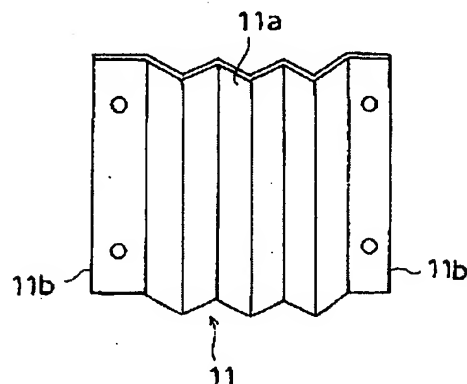
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

